



令和7年度 障害者を対象とした 沖縄県警察職員(警察事務)採用選考試験案内

令和7年7月14日
沖縄県警察本部

- 受付期間 令和7年7月14日(月)～8月15日(金)
※郵送の場合は、令和7年8月15日(金)までに必着
- 第1次試験日 令和7年11月2日(日): 教養試験
- 第2次試験予定日 令和7年12月22日(月): 作文試験・適性検査
同年12月23日(火): 口述試験
- 採用予定日 令和8年4月1日(水)

【問合せ先・受験申込先】沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係
〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2
代表電話 (098) 862-0110 (内線)2664、2665

1 試験区分、採用予定数及び職務内容

試験区分	採用予定数	職務内容
警察事務職員 (警察事務)	若干名	警察本部、警察署等における一般事務等に従事します。

2 受験資格

次の(1)に該当し、かつ、(2)及び(3)の要件を満たす者

- (1) 平成2年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた者
(2) 次に掲げるいずれかの手帳等の交付を受けている者

ア 身体障害者手帳

イ 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規定により都道府県知事の定める医師が、当該都道府県において同条の申請に用いられる様式により作成した、障害の種類及び程度並びに障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる障害に該当する旨が記載された診断書・意見書
ウ 産業医によるイに準じる診断書・意見書(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害に係るものを除く。)

エ 都道府県知事若しくは政令指定都市市長が交付する療育手帳等又は児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医若しくは地域障害者職業センターによる知的障害者であることの判定書

オ 精神障害者保健福祉手帳

※上記の手帳等は、受験申込日及び受験日当日において有効であることが必要です。

- (3) 次のいずれかに該当する者は受験できません。

ア 日本の国籍を有しない者

イ 地方公務員法第16条に規定する次の事項に該当する者

- (ア) 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
(イ) 沖縄県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
(ウ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の日時及び場所

	試験種目	日時	場所
第1次試験	教養試験	11月2日（日）	沖縄県警察本部
第2次試験	適性検査・作文試験	12月22日（月）	沖縄県警察本部
	口述試験	12月23日（火）	

4 試験の種目及び方法・内容

試験は、第1次試験、第2次試験とし、第2次試験は第1次試験合格者にのみ行います。

試験の種目		方法・内容
第1次試験	教養試験 (100点)	公務員として必要な社会についての関心や基礎的・常識的な知識、職務遂行に必要な基礎的な言語能力・論理的思考力についての択一式(60問)による高等学校卒業程度の筆記試験を行う。(60分間)
第2次試験	作文試験 (40点)	思考力、構成力及び表現力についての筆記試験(600字以内)を行います。(1時間)
	口述試験 (120点)	主として人物についての個別面接による試験を行います。
	適性検査	職務遂行に必要な適性についての検査を行います。

注1 第1次試験はマークシート方式で行います。

2 第1次試験の教養試験は、活字印刷文による試験です。

3 補助具等(車椅子、補助具、ルーペ等)の持込みを希望する方、拡大文字による受験等配慮を必要とする方は、受験申込書(2枚目)の該当する番号を○で囲んでください。また、その他配慮の必要な事項等があれば、具体的に記入してください。

4 点字による受験を希望する方は、受験申込前に必ず沖縄県警察本部警務課に連絡してください。

5 点字による受験の場合は、試験時間が一部変更となるほか、試験地を指定することがあります。

5 受験手続

(1) 受験申込書の入手方法

ダウンロード で入手	沖縄県警察ホームページ(http://www.police.pref.okinawa.jp/)から受験申込書の様式をダウンロードすることができます。
直接入手	沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係において、受験申込書を配布しています。

(2) 申込方法及び受付期間

申込先	〔〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2〕沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係
申込方法	受験申込書（必要事項記入、写真張付）に、 前記2(2)に掲げる手帳等の写し を同封し、上記申込先に郵送又は直接提出してください。 封筒の表に「 沖縄県警察職員採用選考試験受験 」と 朱書きし、簡易書留郵便で郵送してください。 ※ 第1次試験日に最終学歴の 卒業証書の写し又は卒業証明書の写し（卒業見込みの者は卒業見込証明書） を提出してもらいますので、準備してください。
受付期間	令和7年7月14日（月）から令和7年8月15日（金）まで 午前8時30分から午後5時15分まで（土日・祝日を除く。） 郵送の場合は、令和7年8月15日（金）までに必着

6 合格発表

	発 表 日	方 法
第1次試験合格発表	令和7年11月中旬頃	沖縄県警察ホームページに掲載するほか、 受験者に対して書面で通知します。
最終合格発表	令和8年1月下旬頃	

7 採用予定日

令和8年4月1日（水）

8 勤務条件等

(1) 給与

ア 沖縄県職員の給与に関する条例により、行政職給料表に基づき、経歴その他に応じて初任給が決定されます。

その他、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給条件に応じて支給されます。

イ 昇給は、原則として毎年1回行われます。また、勤務成績が優秀な場合の昇給制度等があります。

(2) 休暇

年間20日の年次休暇（繰り越した場合最大40日）のほか、慶弔休暇、夏季休暇（5日間）、旧盆休暇など各種特別休暇制度が導入されています。また、育児休業も取得できます。

9 合格から採用まで

(1) 最終合格者は、警察職員（警察事務）選考採用候補者名簿へ成績順に登載され、その中から沖縄県警察本部長が採用を決定します。

なお、受験資格がないことが判明した場合は、合格を取り消します。

(2) 最終合格者の数は、採用を辞退する者等の数を考慮して決定しますので、合格しても採用されないこともあります。

(3) 採用時の階級は、これまでの職務経験等により決定されます。

(4) 採用候補者名簿の有効期間は、名簿確定の日から原則1年です。

(5) この試験の最終合格者は、採用後、一定期間警察学校に入校し、教養訓練を受けることになります。

10 選考試験に関する注意事項

- (1) 試験の詳細な日程は、受付期間終了後、申込者へ通知します。
- (2) 警察本部の駐車場は利用できません。公共の交通機関等をご利用下さい。
- (3) 試験会場（敷地内を含む。）はすべて禁煙です。また、ゴミは試験会場に捨てずに各自持ち帰ってください。

受験申込書の記入要領

- 氏名・生年月日・現住所・連絡先欄
わかりやすく、丁寧に記入してください。
住所欄は、現在居住しているところを記入してください。寮、アパート、下宿、間借り等の場合は、建物の名称、同居先を明確に記入してください。
試験の実施通知及び合格通知は、すべて連絡先に行いますので、連絡先は最も確実なところを記入してください。（住所と同一の場合は、「同上」と記入する。）
- 学歴欄
最終学歴から順番に記載し、高校又は中学までの学歴を記入してください。
専修学校は記入しないでください。
- 職歴欄
今までの勤務上の経験（自営業を含む。）を新しいものから順番に記入してください。
現在勤務中の場合は、退職理由欄に斜線を引いてください。
職歴欄が足りない場合は、3枚目に記載してください。
- 日付
記入日の日付を記入してください。
- 署名欄
必ず申込者本人が自署してください。